MR（麻しん・風しん 混合ワクチン）　予診票の色：白茶

予診票発送時期：　１期：1 歳時　／　２期：小学校入学１年前

●対象者

□1歳～2歳の誕生日の前日までに1回（1期）
□小学校就学前の1年間に1回（2期）
・・・・合計2回

※ 麻しん（はしか）又は風しんのいずれかにかかった場合も接種できます。
※ 輸血又はガンマグロブリン注射を受けたことがある場合はかかりつけ医と相談してください。

ワクチン流通不足により、下記の対象者は接種期間が 2 年間延長となります。
〈期間延長対象者〉
MR1 期：R4 年 4 月 2 日～R5年4月 1 日生まれ
MR2 期：H30 年 4 月 2 日～H31 年 4 月 1 日生まれ

接種期限：令和 9 年 3 月 31 日まで

●MR ワクチンは合計 2 回接種します

麻しんや風しんは幼児期早期にかかってしまうことが多いため、お母さんからの免疫がなくなる生後 12 ヵ月になったらなるべく早期に 1 回目を接種することが大切です。より高い予防の効果を得るためには、全部で 2 回接種します。

麻しんとは

麻しんウイルスの空気感染（飛沫核感染）によっておこる病気であり、伝染力がとても強く予防接種を受けないと多くの人がかかります。発熱、咳、鼻水、目やに、発疹を主症状として 39 度～40 度の高熱がでます。主な合併症として、中耳炎・肺炎・脳炎等があり、脳炎は 500 人に 1 人の割合で発生がみられます。麻しんにかかった場合数千人に 1 人の割合で死亡します。

風しんとは

風しんウイルスの飛沫感染によっておこる病気です。感染してから 2～3 週間で、軽いかぜの症状から始まり発熱・発疹・リンパの腫れ等の症状が出ます。発熱・発疹も 2～3 日で治ることから（三日はしか）とも呼ばれています。一番怖いのは、妊婦が妊娠初期にかかると、先天性風疹症候群児（先天性心臓病・難聴・白内障及び網膜症等）が生まれることがあります。

●予防接種の効果

麻しんワクチンの接種により接種を受けた人の約 95％が免疫を獲得します。ワクチンを受けた者の中で、その後に麻しんにかかる者が数％あります。風しんワクチンも、約 95％が免疫を獲得します。

●ワクチンの特徴・副反応

麻しんウイルス及び風しんウイルスを弱毒化してつくった生ワクチンです。
主な副反応は、発熱と発疹です。その他に、注射部位の発赤・腫脹・しこり等の局所反応、じんましん、リンパ節腫脹、関節痛、熱性けいれん等がみられます。まれに、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、脳炎等が生じることがあります。